

# やはば

議会だより

206

2018.10.16

岩手県  
矢巾町議会



みちのく療育園祭  
(関連記事… P 28)

平成 29 年度決算審査

住みたいまちづくりは進んでいるか …………… 2

予算決算常任委員会

代表質疑 政策の評価と検証は …………… 6

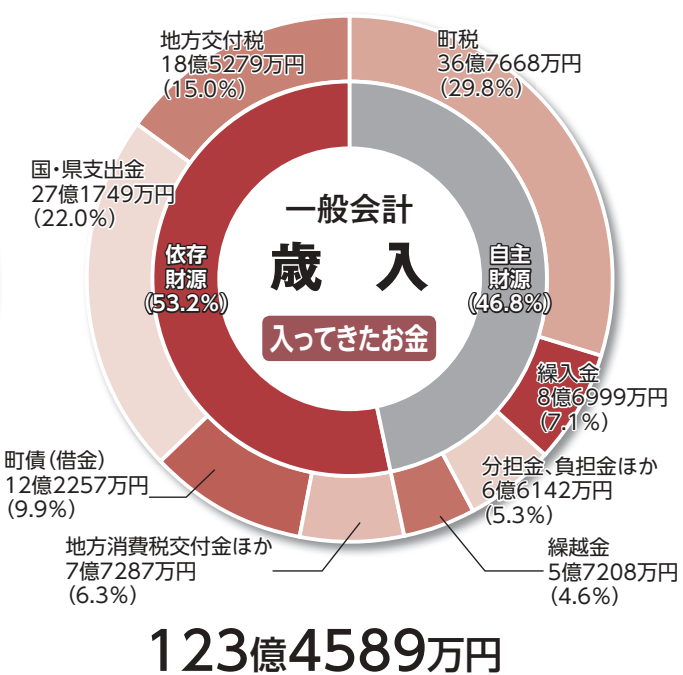
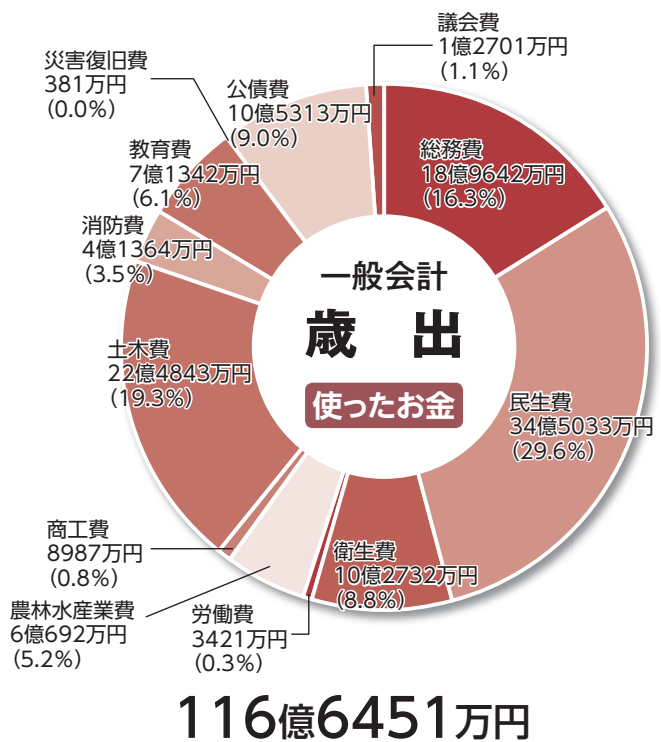
一般質問 町政を問う

社会資源活用の考えは 一般質問8議員 …………… 19



# りは進んでいるか

定例会9月会議は9月4日から20日まで開催され、平成29年度の決算を中心に補正予算、人事案件等を審議しました。決算および補正予算は、予算決算常任委員会で審査され、本会議においてすべての会計が可決されました。



### グラフの用語解説

**【歳入】**  
**繰入金**  
 基金からの取り崩し  
**分担金・負担金**  
 保育料など、特定のサービスを受益する方から徴収するもの

---

**【歳出】**  
**総務費**  
 庁舎、財産等の維持管理等のための経費  
**民生費**  
 一定水準の安定した社会生活に必要な経費  
**公債費**  
 借入金の返済に要する経費

町の主要事業を行う一般会計の歳入は、前年度比14.6%増で約123億4589万円となりました。

依存財源である地方消費税交付税等が税制改正により約4043万円の増収となり、自主財源である町税も8041.3万円の増で約116億6451万円となりました。

一方、農林水産業費は、24.1%減で約1億9234万円の減となりその主な理由は、農地中間管理機構積協力金・かんがい事業が減額となっております。

特別会計・企業会計については、4〜5ページのとおりで

町の主要事業を行う一般会計の歳入は、前年度比14.6%増で約123億4589万円となりました。

依存財源である地方消費税交付税等が税制改正により約4043万円の増収となり、自主財源である町税も8041.3万円の増で約116億6451万円となりました。

一方、農林水産業費は、24.1%減で約1億9234万円の減となりその主な理由は、農地中間管理機構積協力金・かんがい事業が減額となっております。

特別会計・企業会計については、4〜5ページのとおりで

# 平成29年度決算審査

# 住みたいまちづく



移転開業に向けて順調に工事が進む附属病院

## 監査意見

### 人口3万人構想の実現に向けて

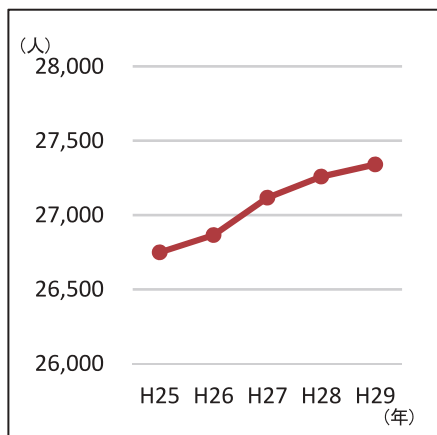
吉田 功 委員  
長谷川 和男 委員

平成29年度の決算状況について、一般会計と4特別会計は、すべての会計において黒字決算となっており、実質収支額は合わせて6億5526万円余を計上している。今後も引き続き効率的な財政運営が行われ、順調に推移していくことを期待する。

下水道事業会計は有収率、経営指標とも目標を下回っていることから、中長期的な視点に立った計画的で効率的な事業推進に努められることを望む。

岩手医科大学附属病院の移転開業が1年後となり、アクセス道路や町道中央1号線の拡張整備等を計画的に着実に事業を推進し、人口3万人構想の実現に向けて、元気な魅力あるまちづくりを推進されることを期待する。

矢巾町 5年間の人口推移



(各年10月1日現在人口)



# 平成29年度決算 特別会計…地域力が求められる介護保険事業

## 国民健康保険事業特別会計

歳入 29億9608万円 前年度比  
↑  
2.1%増

歳出 29億4765万円 前年度比  
↑  
4.3%増

国保加入者への医療費や  
出産育児一時金給付等に  
使われました。

被保険者(5,183人)  
1人当たり  
**56万8715円**

## 介護保険事業特別会計

歳入 20億7251万円 前年度比  
↑  
6.6%増

歳出 19億5074万円 前年度比  
↑  
4.8%増

65歳以上の方等への介護  
サービス給付費や介護予  
防事業に使われました。

被保険者(6,707人)  
1人当たり  
**29万851円**

## 後期高齢者医療特別会計

歳入 1億9283万円 前年度比  
↑  
7.7%増

歳出 1億9086万円 前年度比  
↑  
7.5%増

75歳以上の方等の入院時  
の食事代や高額療養費等  
に使われました。

被保険者(3,117人)  
1人当たり  
**6万1231円**

## 矢幅駅周辺土地区画整理事業特別会計

歳入 6億8528万円 前年度比  
↑  
1.8%増

歳出 6億7211万円 前年度比  
↑  
3.3%増

矢幅駅西地区、駅前地区  
の整備事業に使われまし  
た。

町民(2万7256人)  
1人当たり  
**2万4659円**

※1人あたりの金額は、平成30年3月末の人数から算出しました。



楽しく遊んでいる子どもたち（やはば一く どんぐりっこ）



# 企業会計…料金値上げ分を老朽管の更新へ

企業会計		収入	支出	差引額
水道事業会計	収益的	7億7273万円	4億5344万円	3億1929万円
	資本的	7億 480万円	10億7281万円	△3億6801万円
下水道事業会計	収益的	10億3906万円	9億7965万円	5941万円
	資本的	4億1105万円	8億8182万円	△4億7077万円

**【用語解説】**

**収益的収入および支出**  
 水道水の供給や汚水の処理に使用するための収入や収支

**資本的収入および支出**  
 施設の新設や再整備に使用するための収入や収支

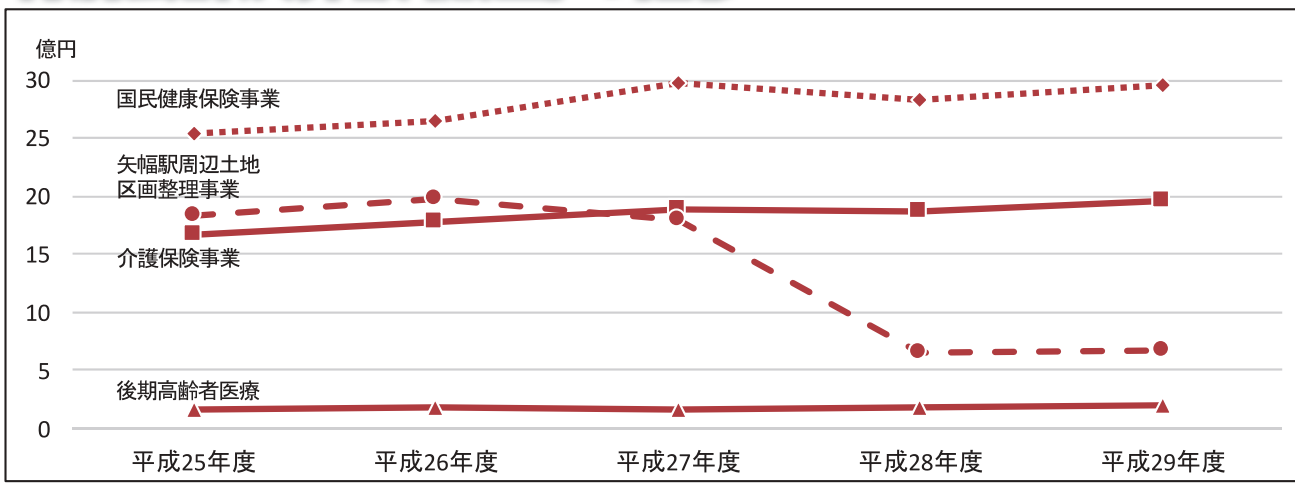


完成間近の新配水場（藤沢）



水道事業、下水道事業ともに、収入が支出に不足する額は、減価償却などの現金の支出を伴わない損益勘定留保資金等で補てんしているジャ。

## 特別会計決算額(歳出)の推移



## 施政方針に対する自己評価は

一心会 昆 秀一 議員

**質問** 総合計画や地方創生総合戦略・施政方針に対する、町としての自己評価・検証の方法は。

**回答** 今まで計画を策定することだけを目標とする傾向にあった。しっかりと検証することがより重要である。これからは、PDCAサイクルを回すことで、チェックしながら計画を推進していく。

**質問** 地方創生の取り組みについての所感は。

**回答** 旧町民センター食堂の改修に関するところは、改めてお詫び申し上げる。責任を痛感している。

今後、職員教育などを総点検して研修を行い、再発防止に努める。

**質問** 施政方針にあった町民憲章を遂行していくということに関しての達成率と評価は、

**回答** 花いっぱい運動の予算を前年度より大幅に増やして、いわて国体での町の和といったわりについての啓蒙になった。

**質問** 施政方針に対して、年度事業を終えての所感について問う。

**回答** 「健やかな生活を守るまちづくり」について。  
**回答** 医療費の中学生までの財源の確保をした。

**質問** 「時代を開き時代につながるひとづくり」について。

**回答** 病児保育事業や児童虐待の対策ができた。

**質問** 職員の適切な管理と人材育成をしながら、ボトムアップでの業務推進をすべきではないのか。

**回答** 今まで一つの部署に業務が偏ったところもあった。今後、職務内容を確認し、

# 政策の評価と検証は



町内外の多くの人が集うロードレース大会(第20回)

## 決算評価をどう生かすか

町民の会 廣田 清美 議員

**質問** 地方創生関係で矢巾町を全国に発信する予算は使われているが、人口を3万人にするための予算が少ない。

平成29年度決算を評価し、これをどう生かすのか。

**回答** 総合計画の策定までは力を入れるが、その後しっかりと対応しなければならぬ。どこでも言われているPDCA

A(計画・実行・評価・改善)だが、今は計画からのスタート



横断的なプロジェクトを考えながら、政策立案等を行っていきける体制を整備していく。

**質問** 機構改革した後の効率化と数値的評価、現状については。↘

**回答** 効率化を数値化するのには難しいが、機構改革により横断的プロジェクトが実現してきた。また福祉関係の流れについて一定の効果があつた。



町民一丸で取り組んだ県道沿いの花植え

# 代表 質疑

代表質疑とは、会派を代表した議員が施政方針などに対して行う質問です。主に決算を扱う会議にて行います。

本町では3人以上の交渉会派が行うこととしています。

9月会議では、委員長への通告があつた4会派による代表質疑が行われました。

トではなく、アクション、対策力である。

前年度の決算などの事務事後評価をしっかりとやり、そこにプランニングなりを実施し検証、確認をしていかなければならない。

**質問** 予算執行の評価は、課内だけでやると全く横のつながりがなくなり、どうしても甘くなる。

担当課内だけではなく、課外でも評価し町づくりに反映するべきではないか。

**回答** 都市計画と保健福祉を柱とした2つの横断的な大きなプロジェクト、これらを政策推進室でやるか特命課長を設けてやるか、課長会議で検討している。できれば特命課長を置き各課の連携を図り、年度内にも横断的な対応ができるよう進めたい。

**質問** 町の人口を3万人にするには、町民の求める施策を充実していかないとなかなか難しい。↘

子育て、学力向上、住宅政策、定住政策などに力を入れ、矢巾町に住みたいという思いが人伝えに広がるような予算配分をしてほしいが、どのような考えか。

**回答** 先ほどの横断的なプロジェクトにある土地利用政策、住宅政策は、これをやりましょうと言っても遅々として前に進まない状態である。しかし、もうやらなければならぬ時期に来ている。

横断的プロジェクトを立ち上げ、人口3万人構想の実現を目指したい。

**質問** 職員の見解を聞き、課長会議でしっかりと話し合い、1円でも無駄にならないような予算執行と、町民のために効果のある会議を望むが、その考えを問う。

**回答** 公金なので、1円たりとも粗末にできない。私は町民を代表して仕事をやらせていただいている。無理、できないではなく、どう解決するか前向きに会議を進めたい。



洋式化が望まれる田園ホールのトイレ

## 人口3万人達成はできるか

矢巾明進会 齊藤 正範 議員

**質問** 第7次総合計画の基本構想では「設定する施策が時代環境や社会情勢の変化に適切に対応できるように見直しする」を基本としている。↘

前期基本計画の2年半を終えた今、最終年度予算執行計画策定をしなければならぬ局面を迎えている町の考え方を以下問う。↘

# まちづくりの推進を

## さらなる安心安全なまちづくりは

やまゆり会 藤原 由巳 議員

**質問** 職員研修事業は、平成29年度決算において 予算比約80万円減の210万円とあるが、その中で資格取得に向けた研修には何があったか。

成、リストの扱いはどのようになっているか。

**回答** 現在、支援要望登録者は254人で対象者の約21%である。

各行政区長へ名簿配布を行っているが、運用の詳細を県など関係機関と相談している状況である。

**回答** 防災士、ドローン操縦、無線3級技士の研修・資格取得を行った。

先日新聞に「名簿を持ち腐れにせず」というタイトルで、適切なリスト運用を図ることを解説していた。町でも早急な対応を望むが。

**質問** 近年全国各地で頻繁に発生する災害に備え、救急救命講習の受講を望む。

特に避難所における対応に女子職員も必要となることから、全職員を対象に受講を望むがその考えは。

**回答** 受講者30名以上で現地に講師が派遣される制度があるので、予算と計画的研修を踏まえ、前向きに検討する。

また、女子職員も対象として考えたい。

**質問** 災害時避難に支援を要する人員数とその方の名簿作

町長が以前、高速道スマートインター付近に防災施設の設定構想を話された。先日盛岡市議会でも新野球場

町長が以前、高速道スマートインター付近に防災施設の設定構想を話された。先日盛岡市議会でも新野球場

町長が以前、高速道スマートインター付近に防災施設の設定構想を話された。先日盛岡市議会でも新野球場

町長が以前、高速道スマートインター付近に防災施設の設定構想を話された。先日盛岡市議会でも新野球場

町長が以前、高速道スマートインター付近に防災施設の設定構想を話された。先日盛岡市議会でも新野球場



前期計画の最終年度、2023年度の人口目標は3万人としているが、2018年7

月末現在2万7259人である。何も対策をしない場合で算出した2019年の人口推計は2万7865人である。

現在の人口は、何も対策をしない場合の推計人口を下回っているが、その考えは。

**回答** 現状はその通りである。新たな住宅を建設するための土地利用の早急な施策や、県営住宅の建設を県に要望し、人口増加につなげたい。

**質問** 目標人口達成に向けて、かねてより取得農地面積条件を10アール程度に緩和する検討をしていますが、提案しているが、委員が替わった新農業委員会で検討した経緯はあるか。

**回答** 農地の下限面積には、10アールの経営体が40%を超えている等の農地法の定めがある。

遊休農地が多く、規模が小さい農家を入れなければ、地区全体の農地の維持が図れない。

という市町村もあるという情報は収集している。

現在、役場内で空き家の調査すると共に、そのデータを活用し農地の所有状況などの調査をしているところで、現在模索中である。

**質問** 公共交通の利便性の向上に向けての施策は、デマンド交通と新循環コミュニティバスの運行に見直しをするが、ルートや乗降場所などの検証は、利用者数の目標を定め、達成率で見直しの判断をしたらどうか。

**回答** 来年1〜3月にデマンド交通の運行を予定している。見直しは利用者の意見を聞き目標を定めたい。

**質問** 田園ホールのトイレ洋式化改修工事は、平成32年以降と説明を受けたが、ふるさと納税の資金を活用して、早急に実施すべきと考えるがどうか。

**回答** 順次計画を立てて行うよう、内部で検討し早めに対応する。

※デマンド交通 予約・乗り合い型のバスやタクシー

予算決算常任委員会

# 町民目線で

## 代表 質疑

を防災拠点にする一般質問があり、消防・警察・自衛隊の活動拠点になり得ると答えたことが新聞に掲載されていた。

このことへの町長の考えは。

**回答** 防災拠点設置は、県消防学校移転構想を見据えて、県と協議している段階である。結論は少し時間を要する。

**質問** 県内最大の消費地盛岡エリアにある本町農業の未来、

をどう描くか。

また開業する岩手医科大学附属病院への町内農産物の供給、取り組みをどう進めるか。

**回答** 農業所得の確保が一番の課題であり、機械・IT化による省力農業が重要である。医大病院への納入は、JAを窓口で折衝しているが同意に至っていない。将来展望を見据え、関係機関と連携を図り、課題解決に取り組む。



災害時にも活躍が期待されるドローン（町所有）

# 町の家計簿をしつかりチェック

決算審査は、議長を除く17人の委員で構成される予算決算常任委員会（委員長 山崎道夫）で審議しました。

## 一般会計

### 財政

**長谷川** ふるさと納税に関して、総務省の返礼品の30%規制を受けて見直すのか。

**回答** 10月末までに見直しを行う考えである。

**小川** ふるさと納税返礼品の矢巾クラフトビールの今後の考えは。

**回答** ビールについては、直接総務省に出向き協議する予定である。

**藤原（由）** パストラルバーデンの売り払い収入は今回で終了か。

**回答** 平成30年9月末日が最終納期となっている。

## 総務・防災

**赤丸** 決算の詳細説明時に事業会計ごとの総括を行うべきであると考えが見解は。

**回答** 決算の総括は必要と考えるので検討していく。

**廣田（清）** 地方創生事業のローカルブランディング契約は、項目によっては妥当と思えず、積算、発注など精査は同じ課で行うのは問題では。

**回答** 内部の入札審査委員会の強化を図り、精査する。同じ課で全ての審査をやら

ないよう努める。

**川村（農）** 契約に係わる業務の担当間連携が図られているか。

**回答** 慣れない業務では、アドバイス・相談を行い連携を図っている。



ふるさと納税返礼品として考えている矢巾クラフトビール

**小川** ハザードマップで示されている北上川浸水区域内に避難所があるが、見直す必要があるのではないか。

**回答** 現在、高田、西徳田2区、東徳田、間野々、土橋の各公民館が該当するが、防災マップの改定を予定しており、

それを機会に検討する。

**川村（農）** 各自治会に担当職員2人を割り当てしたが効果はどうか。

**回答** 自治会が抱えている要望を担当課につなげることができた。

**昆** 町民への広報、広聴の充実を図る考えは。

**回答** 町の事業内容を冊子にまとめ町民に配布したい。町広報に封筒をつけて、投函できるようにし町民の声を聞いていく。

**藤原（梅）** 防災ラジオの普及のために、モニターなどを取り入れてラジオに直接触れてもらえるようにしては。

**回答** 秋まつり等でラジオを展示して、手に触れてもらい普及に努める。



## 産業・建設

**藤原(義)** 認定農業者は何人か、また支援策は。

**回答** やはば認定農業者支援事業で25万円を限度に行っている。該当者は113経営体である。

**藤原(梅)** 松くい虫の防除後の状況は。

**回答** 防除後の被害は、今のところ見られていない。

**高橋(七)** 南矢幅踏切西側道路に歩道がない。

**回答** 踏切工事が実施される前に歩道を整備し踏切工事につなげるべきと思うが。

**回答** 上杉踏切は来年度から2カ年かけて整備していく。その後、白沢踏切、南矢幅踏切の順で整備を計画している。



改良が望まれる鋭角な交差点(旧山王茶屋前)



東京オリンピックメダルに活用される小型家電(役場1階 回収ボックス)

るが、交付金対象事業なので状況を見ながら検討していきたい。

**水本** 特産品開発ではどんなものを開発したのか。  
**回答** 夏のおでんと減塩のおでんの開発を行った。

**高橋(安)** 旧山王茶屋前の交差点が現在鋭角であり、改良工事の考えは。  
**回答** 県道であることから、

危険解消に向け関係機関と相談しながら検討する。

**川村(農)** 農業の6次産業化は消費者が何を求めているかという視点での開発が重要ではないのか。  
**回答** 消費者ニーズを見極めて検討する。

## 福祉・環境

**高橋(安)** 家庭的保育事業

の早期開設に取り組み、待機児童の解消を行うべきであるが、その考えは。

**回答** 対象者研修を10〜12月に実施し、申請に基づき審査を行い確認後の開設となる。

**川村(よ)** 待機児童解消のため、保育施設や保育士を増やしてはどうか。  
**回答** 民間で保育を行いたいという事業者もあるので、見極めながら待機児童の解消につなげたい。

**昆** 福祉タクシー助成券利用のアンケート結果は。  
**回答** 利用の内容は、通勤や通学が主なものとなっており、利用率も上がっている。

**村松** 町内に5カ所の小型家電の資源回収ボックスがある。小中学校にも回収ボックスを置きオリンピックメダルのための資源回収をしては。  
**回答** 矢巾町の回収率は良い。新聞報道等に取り上げてもらうことも一つのきっかけになるし動機づけにもなる。

# 検証結果を次年度に生かせ

## 福祉・環境

**川村(よ)** 子ども食堂にさらなる支援を。

**回答** 子ども食堂は貧困対策よりも明るい雰囲気で行っている。経費を掛けるより明るさを損なわない支援を継続していきたい。

**長谷川** 悪臭のする養豚場移転問題は、どのような状況となっているか。

**回答** 会社独自で移転先を模索している状況にあり、移転を検討している。

**村松** ごみ焼却に6%も資源ごみが混じっているので、改善を図るべきだと思うが。

**回答** ごみ減量に向けて回収・分別それぞれの委託業者と検討、折衝を行っている状況である。

## 教育・文化

**長谷川** 通学路のブロック塀倒壊による事故防止対策は。

**回答** 教育委員会で危険個所を把握しているが、学校にも調査をお願いしている。

**昆** 矢中東小学校の図書室が現在ないが、今後の見通しは。

**回答** 現在、東小は多目的ホールに書棚を置いて図書室の代わりとしている。今後はオープンスペースでの図書コーナーということも考えていきたい。

**村松** 矢中中学校プールを一般に開放する考えはどうか。

**回答** 運用には課題が多く、進められなかった。今後多くのアドバイスをいただき、開放の検討を行っていく。



多くの人でにぎわう徳丹城春まつり

**藤原(義)** 徳丹城跡地活用がいつころに進まないが、その対応はどうか。

**回答** 発掘調査資料の取りま

とめが終わりしだい、地元の方と有識者を含めた活用検討委員会を立ち上げて、活用に向けて取り組む。

**藤原(義)**

徳丹城は貴重な観光の目玉であるが、アピールするものが何もない。PRするための今後の方針は。

**回答** 整備計画の中で建物など見える物も必要だと思われるので、それも含め委員会で協議していく。

**村松** ゾーン30設定の取り組み状況のその後は、どうなっているか。

**回答** 設定する方針で警察署と協議は終わっている。設定エリアを地元で相談・説明する段階であり現在申請は2カ所を想定している。

**廣田(清)** 給食での子どもアレルギーが心配である。現状と取り組み内容は。

**回答** アレルギーの子どもの30人ほどが該当、保護者と相談し、代替食の提供や教師の協力を得て食材を取り除くなど対応を行っている。



## 特別会計

はないのか。

**回答** 国の制度であり、要望として協議会に伝えていく。

**村松** 特定健診の受診率状況は、どの程度か。

**回答** 近隣自治体と比較して受診率は低くないが、向上に努める。

**川村(よ)** 後期高齢者に特定健診助成がないのは差別で

**昆** やはばーく運営会社の職員体制は、どうなっているか。  
**回答** 今まで何人か入れ替わっている。会社に対し指導までは難しいと考えている。利用される方に支障がないように努める。



忙しく利用者対応する職員（やはばーく）

**昆** 生活支援コーディネーターの配置先とその業務は。

**回答** 町社会福祉協議会に配置されて、地域資源の創出などの業務を行っている。

## 企業会計

**赤丸** 下水の有収率と経営指標を改善する中長期的展望をどう捉えているか。

**回答** 下水管更新を計画に沿って行っており、徐々に改善していく。

**小川** 流通センターの水道事業は事業等組合の廃止でどうなるのか。

**回答** 組合の廃止に関して、盛岡市の内部での意思統一がまだ明確になっておらず、その回答を待っている。

**高橋(七)** 浄化槽設置の対象者にもっと周知を図っては。

**回答** 秋まつりでブースを設けPRすると共に、広報紙で年2〜3回周知を行っている。



以前利用されていた汚水終末処理場  
(流通センター事業等組合)

**水本** 第7次総合計画において「浄化槽区域については設置の促進を図る」としているが、今後の計画は。

**回答** 公共下水道は平成30年度をもち整備が完了する。

集落排水についてもすでに完了している。浄化槽については太田地区は50%ほど整備されている。

今後該当する方には増改築の際に周知する。

# 審査報告

予算決算常任委員会委員長 山崎 道夫

## 町民にやさしい事業推進を

次のとおり附帯決議を付して可決する。

- ふるさと納税は成果が表れ評価するが、今後は地場産品の使用など、新たな発想でサービスに努められたい。
- 地方創生事業は、チェック体制のあり方を検討すべき。
- ハザードマップの見直しと、防災体制強化を図られたい。
- 防災ラジオの普及に努め番組内容の充実を図られたい。
- 生活道路の整備、通学路の交通安全対策及び街路灯の設置を行い、事故防止に努められたい。
- イセファームの臭気問題について、早期解決に取り組みられたい。
- 農業所得の向上と後継者育成を図られたい。
- 南矢幅踏切の早期改修に努められたい。
- 小中学校や国民保養センターの冷房設置を早期に対応されたい。
- 田園ホールや町施設のトイレ洋式化に早急に努められたい。
- 町営住宅の老朽化対策について、早急に管理体制と対策を望む。
- 高校生までの医療費無料化と待機児童の解消の実現。
- 各種がん検診や特定健診の受診率の向上を目指し、町民意識の啓蒙を図られたい。
- 水道管の耐震化率の向上を図られたい。
- 下水道事業の不明水対策について、有収率向上を図られたい。

## 討論

表決に付される前に、その案件に対して5人の議員が賛成と反対の意見を表明しました。

### 地方創生に異議あり

地方創生事業の中の旧町民センター食堂改修工事について、設計業務を委託したが入札中止により施行に至らなかった。設計業務委託料の全額を町が負担することになり、町民への大きな負担となった。水道会計は良好であり、料金値上げの根拠はなかったと考えることから反対する。

小川 文子

### 福祉事業向上を評価

健康長寿日本一を掲げる町として、特定健診・特定保健指導の推進や福祉事業の向上の取り組みを評価する。未来を開く子どもたちの環境整備として、待機児童の解消・一時預かり事業・病児保育など多方面から確実に推進されている。全会計がプラスである決算に賛成する。

藤原 梅昭

### 3万人構想を評価

一般会計及び4特別会計の全てが黒字決算、2企業会計の利益改善が図られたことを評価する。インフラ整備、子育て支援、教育環境改善、高齢者対策、防災対策など安心安全なまちづくりの事業を推進し、人口3万人構想に向け取り組みも評価し賛成する。

赤丸 秀雄

### 7次総計画の検証を

平成29年度は第7次総前期計画の2年目であったが、これまでの検証がされていない。町体育館改修で当初予算審議後すぐ補正予算計上となった。地方創生は旧町民センター食堂改修費が国に返還となり、町負担となった。以上のことから、一般会計決算認定に反対する。

昆 秀一

### 国保税の引き下げを

長年にわたり、大型公共事業を中心に町政が進められてきた。低収入でも差し押さえがなく、安心して生活できるようにするべきである。国保税・介護保険料や利用料の引き下げのため、一般会計からの法定外繰り入れが必要と考えることから反対する。

川村 よし子



# 公共施設の太陽光発電を共有化

9月4日から開催された9月会議では、工事請負契約の締結が2件議決されたほか一般会計、4特別会計、2企業会計の補正予算が議決され、一般会計の総額は約125億6693万円となりました。

## 人事案件

### 人権擁護委員の推薦



細川 榮子さん  
(岩清水) 再



山本 加代子さん  
(西徳田2区) 再

任期は平成31年1月1日から3年間となります。

### 教育委員の任命



掛川 はるなさん  
(矢巾2区) 再

任期は平成30年10月1日から4年間となります。

### 工事請負契約

#### 町道堤川目線田尻橋 橋梁架替変更工事

仮縮用矢板工・工法変更、緑化ブロック面積の増加が必要になったため、工事費が約3016万円の増額となったものです。

**質問** 設計変更金額が大きいが、地質調査をやるべきであり、工事の進め方としては、問題があったのではないか。  
**回答** 調査不足もあった。今後はしっかり精査して、進めていきたい。

### 反対討論

3000万円の追加工事の精査が必要であり、矢板工の使用は重複せず工期を伸ばしたほうが工事費が少なくて済むことから反対である。

小川 文子

### 公共施設等省エネルギー 改修その2工事

役場庁舎、町民総合体育館、町公民館、田園ホール、さわやかハウス、不動小学校、共同調理場について太陽光発電システムのネットワークを構築し蓄電池の設置工事を2億5704万円でいきます。



変更契約工事となった田尻橋（煙山地内）

議会で決めたこと

### 補正予算

主な内容は次のとおりです。

#### 主な歳入

- ▽一般寄附金(ふるさと納税) 2億円
- ▽エネルギー供給システム 補助金 470万円
- ▽デマンド交通運賃収入 9万円

#### 主な歳出

- ▼ふるさと納税委託費 2405万円
- ▼エネルギー供給システムの構築 480万円
- ▼矢巾斎苑控室改修 555万円
- ▼デマンドバス運行委託料 118万円
- ▼新循環バス運行計画委託料 108万円
- ▼部活指導員の追加経費 94万円



役場1階に展示してある町内特産品

#### ふるさと納税の額

**質問** ふるさと納税の8月までの概算寄付額はどの程度か。

**回答** 5億2700万円ほどになっている。

#### 部活指導員の配置

**質問** 部活指導員はこの学校に配置する予定なのか。

**回答** 矢巾中学校と矢巾北中学校に1名ずつ、2学期中を

目途に人選し、今年度中に配置する。

#### 新循環バスの委託

**質問** 新循環コミュニティバスの計画委託内容は。

**回答** 公共交通の研究をしている県立大学に委託する。

#### 生活道路の改良

**質問** 生活道路の改良工事を行う箇所はどこか。

**回答** 土橋の4号線に入る道路と、安庭線から北へ通じる道路の2カ所を予定している。

**質問** 安庭線の融雪工事の内容は。

**回答** J Rのアンダーパスの工事である。

#### 予算決算常任委員会 審査報告

請負工事や設計業務を発注する際は、事前調査を徹底し、チェック機能体制の強化を図り、大きく変更することがないよう適正な予算執行に努められる。

# 部活指導員を 中学校に2名配置



# 各議案の採決状況

平成30年定例会9月会議

議案番号	提出議案	議員名															採決結果					
		赤丸 秀雄	水本 淳一	廣田 清実	高橋 安子	齊藤 正範	村松 信一	昆 秀一	藤原 梅昭	川村 農夫	山崎 道夫	高橋 七郎	長谷川和男	川村よし子	小川 文子	藤原 由巳		藤原 義一	米倉 清志	廣田 光男		
諮問 4号~5号	人権擁護委員の推薦	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可
第64号	教育委員会の委員の任命に関する同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可
第65号	町道堤川目線田尻橋橋梁架替工事請負契約の変更	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可
第66号	公共施設等省エネルギーネットワーク改修工事請負契約の締結	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可
第67号	平成30年度一般会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可
第68号	平成30年度国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可
第69号	平成30年度介護保険事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可
第70号	平成30年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可
第71号	平成30年度矢幅駅周辺土地区画整理事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可
第72号	平成30年度水道事業会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可
第73号	平成30年度下水道事業会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可
第74号	平成29年度一般会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可
第75号	平成29年度国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可
第76号	平成29年度介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可
第77号	平成29年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可
第78号	平成29年度矢幅駅周辺土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可
第79号	平成29年度水道事業会計決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可
第80号	平成29年度水道事業会計未処分利益剰余金の処分	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可
第81号	平成29年度下水道事業会計決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可
第82号	一般職非常勤職員等の任用等に関する条例の一部改正（時給改定）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可
第83号 第84号	住居表示を実施する区域及び住居表示の方法についての条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可
発議案 第3号	町議会議員政治倫理条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可
発議案 第4号	教職員定数改善及び義務教育費国庫負担制度拡充の意見書提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可
発議案 第5号	私学助成の充実についての意見書提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可

○=原案に賛成 ●=原案に反対 欠=欠席 可=可決 否=否決

注：廣田光男議長は採決に加わらない。

議会で決めたこと

## みなさんからの請願

請願 請願 拒絶 改善 要請 義務教育

請願 義務教育 請願 充実・発展させ

岩手県教職員組合

いわて盛岡支部  
支部長 三又 恭次

紹介議員

山崎 道夫

私学助成をすすめる

岩手の会  
会長 土屋 直人

紹介議員

藤原 梅昭

全員賛成

## 採択 審査意見

教職員が人間らしい働き方ができるためには、教職員定数の改善を行い長時間労働是正が必要である。

義務教育費国庫負担制度は、2006年度から国庫負担率が2分の1から3分の1に引き下げられたことにより、地方自治体の財政を圧迫していることや、自治体間の教育格差を生じることなどは大きな問題であり、本請願の趣旨は理解できるものである。

全員賛成

## 採択 審査意見

私立高校は授業料に加えて高額な施設設備費、教育維持費等があり、保護者は公立高校に通う生徒の世帯より経済的負担を強いられている。

少子化による定員割れなど学校経営を取り巻く状況は、厳しさが増しているが、学校がなくなることは、その地域全体の過疎化や振興という点から見ても、憂慮すべき事態であり、本請願の主旨は理解できるものである。

## 矢巾町民と議会との懇談会開催のお知らせ

開催日	時間	場所
平成30年 10月27日(土)	午後2時から	矢巾町公民館
	午後6時から	藤沢公民館

〈内容〉 議会からの報告 質疑 意見・提言 など

左の日程で懇談会を開催いたします。どの会場でもご参加いただけます。皆さまのご来場をお待ちしています。

議会で決めたこと



## 独自の議会になるよう期待

赤坂 稔さん(高田1区)



議会を傍聴する筆者

これまで何度か議会を傍聴しましたが、傍聴者があまりに少なく残念に思います。議会の傍聴は町民の責任だと思います。議会では、行政と議員が真摯に議論していますが、今一つ物足りなさを感じます。それは、行政側が今後検討するとか、現在の施策を継続して、という答弁ばかりだからです。

行政には、メリット、デメリットを明らかにし、時代の変化に対応した施策を打ち出していただきたい。さらに、検討するという事項に対しては、今後どうなったかの情報を形にいただきたい。継続は力といいますが、変化に対応してこそ継続が可能です。行政・議員・住民が、さらに知恵を出し合い、全国にない独自の議会になるようみんなの努力と熱意を期待します。



ズバリ

# 町政を問う

徳田地区敬老会



徳田地区敬老会

## 一般質問

一般質問とは、議員が執行機関に対して、町政全般にわたる執行状況や将来に対する方針など、諸問題について質問を行い、政治姿勢を明らかにするものです。  
9月会議では8人の議員による一般質問が行われ、活発な議論が展開されました。

### ●昆 秀一 議員 ……P20

- ① いじめの防止策
- ② 社会資源の活用
- ③ 町民の幸福の向上
- ④ ICT等の活用による取り組み

### ●藤原由巳 議員 ……P22

- ① 新たな米政策元年の本町農業政策
- ② 医大附属病院開院に向けての対応
- ③ 町政課題の確認とその進捗状況

### ●山崎道夫 議員 ……P24

- ① 通称「盛岡西バイパス」延伸ルート決定に向けた本町の取り組み
- ② 小中学校の全教室に冷房設備の早期設置
- ③ 自治公民館への冷房設備設置に向けた補助金交付事業の検討

### ●川村よし子 議員 ……P26

- ① 介護保険制度
- ② 国民健康保険税の引き下げ
- ③ 農業政策

### ●村松信一 議員 ……P21

- ① ごみ減量の推進
- ② 矢巾型農業の確立

### ●赤丸秀雄 議員 ……P23

- ① 町人口増加に向けた取り組み
- ② 義務教育環境における現状と課題
- ③ 町内公共交通網の整備方針

### ●小川文子 議員 ……P25

- ① 保育士の待遇改善
- ② 町営住宅の改修
- ③ 子どもの医療費助成 18歳まで拡大を
- ④ デマンドタクシー

### ●藤原梅昭 議員 ……P27

- ① 安心安全なまちづくり
- ② 農林業振興

※次ページからの各議員の質問と答弁は、紙面の都合上、内容を要約して掲載しています。  
詳しい内容は、議会事務局にお問い合わせください。

# 社会資源活用の考えは 地域力強化推進事業を導入



こん 昆 秀一 議員  
(一心会)



コミュニティづくりのための地域交流（高田コミュニティセンター）

**質問** 介護保険制度や障害者総合支援法では、地域での生活への移行を進めている。そこで、住民ニーズを解決するためには、さまざまな社会資源が必要になってくる。今後の社会資源の活用をどう考えるのか。

**町長** 昨今の福祉分野における相談内容は、複合的な課題を抱えたものが増加傾向にある。その解決は既存の制度では対応しきれなくなってきた。そのため、既存サービスにない事業の創出をしていく必要がある。

今後、地域共生社会の実現に向け、地域力強化推進事業を導入することで、多世代型の地域包括ケアシステムの構築をはじめ、地域の新たなサービスの創出を検討している。

## 幸福のまち 条例制定を

### コミュニティ条例に 盛り込む

**質問** 人や社会の幸福は、まちづくりの中心となるものである。そのことを見失ってしまわないために、「幸福のまちづくり条例」を制定し、しっかりとした理念を抱き、町内外に示してはどうか。

**町長** 幸福の要素として、人と人とのつながり、地域との

つながりが重要であることから、住民の幸福についての考え方をすでにあるコミュニティ条例に盛り込むことがふさわしいと考える。

今後、住民全体で幅広い議論を持ち検討したい。

## ICT等の 活用策は

### タブレット導入 実現に向け検討中

**質問** 近年、特にICT（情報通信技術）などの活用により、行政運営の効率化や住民サービスの向上が進んでいる。今後さらなる活用が考えられることから、今後の町としての活用策を問う。

**町長** 町では、マッピングシステムや複数のテレビ電話会議、ホームページやSNSを利用した情報発信等を活用している。

議会でも導入しているタブレットは、当局でも来年度をめどに実現できるよう検討中である。

※マッピングシステム：インターネットで地図データ等を取り込みパソコン上で表示するシステム



# ズッキーニの普及拡大を 多くのレシピを集め検討



むらまつ のぶかつ  
**村松 信一 議員**  
(矢巾明進会)

**質問** 過去にやはばのお勧め料理簡単レシピ集を発刊したが、ズッキーニを矢巾の特産品として強化のため、新たな料理レシピ集を作って、普及拡大につなげたらどうか。

**町長** 町内飲食店での提供も多くなってきたが、料理の種類も少ないため、多くのレシピを集め普及拡大を検討する。

**質問** 学校給食にズッキーニを使った野菜サラダを考案してはどうか。

**町長** ズッキーニは給食にも積極的に取り入れているが、生野菜としては提供していない。また、町主催の学び塾では、農業体験を通じて消費拡大に努めている。



ズッキーニの普及を行う地域おこし協力隊員（矢巾の恵みを味わうタベ）

**質問** 野菜栽培には、フォアシステムが最適であるが、ほ場整備への支援策は。

**町長** 農地耕作条件改善事業を活用し、昨年度は1・18ヘクタール実施している。

**質問** 農業の人手不足対策と

障がい者就労の場である農福連携が注目されているが、本町での取り組みはどうか。

**町長** 農福連携の取り組みは実施していないが、希望される方には福祉サービス事業所で、就労に向けた支援を実施している。

## 資源化で ごみ減量を

### 紙類を資源化する

**質問** 紙・雑紙類が燃えるごみとして焼却されているが、資源化を図りごみ減量化すべきではないか。

**町長** 燃えるごみの中に紙類が6%含まれており、今年度は古紙類を資源とした分別の説明会に重点を置いている。

**質問** 小型家電回収ボックスは町内5カ所に設置している。回収の希少金属は東京オリンピックメダル数ほどの程度回収ができたか。

**町長** 金メダル4・7個、銀メダル0・26個、銅メダル163・39個分回収できた。

**質問** ごみ集積所は288カ所あるが、資源化徹底のため集積所ごとのコンテストを実施してはどうか。

**町長** 評価する人員等の課題もあり難しい。

# 本町の新たな米政策は 主食米の生産面積を確保



ふじわら よしみ  
**藤原 由巳 議員**  
(やまゆり会)



稲刈り体験をする児童（不動小学校）

**質問** 新たな米政策がスタートしたが本町での主食用米の栽培状況は。

**町長** 本年度の主食用米の栽培面積は、生産目標目安面積1333ヘクタールに対して14ヘクタール減の1319ヘクタールで、うちウルチ米が

1043ヘクタール、モチ米が276ヘクタールとなっている。

昨年までの直接支払い交付金があれば、9892万5000円が交付されていたが、本年度は経営所得安定対策交付金の交付となり、対象作物によっては農業者の収入減が懸念される。

## 医大病院への 農産物供給は

J Aなどと

協議を進める

**質問** 岩手医科大学附属病院が来年移転開業する。

以前から医大関連施設への町内農産物の供給を模索してきたが、附属病院への供給はどうなるか。

**町長** 医大及び関連会社のごさかたサービスと協議を重ねてきたが進展していない。

今後は生産者組織やJ A等も含めて協議を重ね、地元農産物の供給に努めていきたい。

## 高橋町政 3年の成果は 全世代が元氣な まちづくりを实践

**質問** 就任1年後に庁舎内の機構改革を实行了したが、その評価をどう捉えているか。

**町長** 産業振興課、企画財政課、福祉・子ども課、健康長寿課にて機構改革を行った。

来庁者の目的を考慮した課の再配置により新たな取り組みも見られ、住民サービスの向上につながっている。

**質問** イセファームの悪臭苦情が出て久しい。来年には医大附属病院の開院もあり、町長も交渉に当たったと聞いているが、その後の経過は。

**町長** 悪臭対策には数年前から取り組んでおり、昨年春頃には移転の候補地もほぼ確定したとの情報も流れた。しかし事業会社の都合もあり、现阶段では明確な情報はない。今後とも情報収集に努める。



# 人口増加に向けた施策は 住宅用地の整備を進める



あかまる ひでお  
**赤丸 秀雄 議員**  
(一心会)

**質問** 町人口3万人構想に向け住宅用地確保が重要課題であると踏まえるが町の考えは。  
**町長** 宅地用地は不足している。現在民間事業者から住宅用地整備案件の提案があり、県などの関係機関と協議を進めている。

**質問** 子育て世帯へのさらなる支援も必要と考え、具体的な施策を望むがどうか。  
**町長** 高校生までの医療費無料助成を検討する。3歳児までの保育料無償化は、国の制度の取り組みを見つつ検討していく。

その他の支援で改善できるものは、充実に向け取り組む。



ボランティア講師による学習塾（やはば一く3階）

## 学力向上の 取り組みは

ボランティアの  
塾を開催している

**質問** 先日実施の全国一斉テ

ストの町内平均値が全国と比較して、若干下回ったようだが、町の学力向上の取り組みの内容は。  
**教育長** 中学3年生対象に岩手大学生による学習ラーニングサポート事業を実施、また7〜11月にボランティアによ

る塾を開催し、希望者に学習指導を実施している。

**質問** 小中学校のトイレ洋式化の工事状況は。  
**教育長** 徳田、煙山、不動小学校の1階部分洋式化は完了している。各校の2階や3階と体育館、北中の洋式化は来年1月完成予定である。

## デマンド交通は

平日8便で

週5日の運行

**質問** 来年1月から運行のデマンド交通の内容は。  
**町長** 運賃は大人500円、子ども300円を想定、週5日の平日8便で計画し、詳細な詰めなど準備を進めている。

**質問** 利用者の利便性に配慮した運賃設定と運行時間を望むが、意向調査を行うのか。  
**町長** 説明会で聞き取りを行うほか、試験運行を踏まえ本格運行に向けて改善を図る。

# 盛岡南道路南伸のルートは 専門組織を立ち上げ対応



やまざき 山崎 道夫 議員  
(一心会)



渋滞している西バイパス南口交差点（盛岡市場付近）

**質問** 今年の春、盛岡南道路の延伸について、国の調査費が決定したとの報道がされた。ルート設定に向け検討委員会等を設置し、早急に取り組むべきと考えるがどうか。

**町長** 盛岡南道路の延伸に関し東北地方整備局から、まち

づくりの未来像を固めるよう要請があることから、役場内に専門組織を立ち上げ、将来のまちづくりの方向性を固めていきたい。

ルート設定については盛岡市とも合同で検討し、道の駅構想も含めて考えていきたい。

## 小中学校に エアコンを

### 早期に取り組む

**質問** 今年の夏も連日のように猛暑が続ぎ、学校は熱中症対策や授業に集中できる環境づくりに大変苦慮している。

扇風機だけで夏を乗り切るには限界が来ており、早期にエアコンの設置が望まれるが体調不良を訴えた児童生徒はいなかったか。教室の温度を計測したデータはあるか。

**教育長** 熱中症と思われる症状で体調不良を訴えたのは、小学校49人、中学校80人で合計129人となっている。

なお、調査したデータはなが、教室内の温度計で35度

以上に上がったことがあり、早期のエアコン設置が必須と考える、国の補助を要望しているが、児童生徒のため早期設置に向け取り組んでいきたい。

## 公民館に冷房 設置の補助を

### 補助対象を周知

**質問** 高齢者の居場所づくりなどは、地域の公民館利用が考えられる。快適な利用のため、冷房設置推進に向け、補助金交付事業を検討しては。

**町長** 自治公民館36館中、冷房設置は8館となっている。現在、介護予防として自治公民館を活用し「こびりっこサロン」や、「通いの場体操くらぶ」を実施している。

今後、自治公民館を拠点としたさまざまな事業を検討していく。

冷房設置推進は、コミュニティ活動促進事業の補助対象となるので、今後活用の周知を図っていきたい。



# デマンドタクシー早期実施を 来年1月から試験運行



おがわ ふみこ  
**小川 文子 議員**  
(日本共産党)

**質問** 乗り合いタクシーを利用したデマンド型交通は、公共交通としての需要が高まっている。交通弱者対策としても早期実現を求める。

**町長** 交通事業者を公募型プロポーザル方式で募集中であり、来年1月の試験運行を目指して作業を進めている。

**質問** 乗車料金はいくらで、登録制とするのか。

**町長** 500円を基本とし登録は不要で誰でも利用できる。

**質問** 停留所の設定は、高齢者や病氣・妊婦の方や幼児には不便であり、玄関口とすべきではないか。

**町長** 予算上のこともあり、試験運行は停留所としたい。



町民の足として喜ばれている岩手町のデマンドタクシー (写真提供 岩手町)

## 町営住宅に 網戸を

### 実態調査を行う

**質問** 町営住宅の改修課題の中で、すべての窓に網戸を設

置できないか。

また、三提住宅の換気扇が経年劣化しているが対策は。

**町長** 網戸は7割が設置済みである。今年度は風張住宅のうち7戸を改修予定で併せて網戸を設置する。

換気扇は申し出があれば随

時交換修繕を行っている。なお全戸の網戸と換気扇の実態を調査し対応する。

**質問** 生活保護世帯には網戸と風呂を設置することになっているが、対応は。

**町長** 対象者に周知する。

## 保育士支援を 各種支援を検討

**質問** 保育士の待遇改善を進めると共に、豊かな保育環境となるような矢巾型保育を目指してはどうか。

**町長** 奨学金返済助成を含めて、保育士確保の方策を進めていく。

住宅手当は、国の制度を利用した宿舍借り上げ補助は町内保育施設の意見をうかがい、課題と効果を整理し検討する。

**質問** 現在の待機児童数は。

**町長** 4月以降60人入園できずだが、現在の待機児童数は8人である。

# 高齢障がい者の介護保険は 共生型サービスを創設



かわむら  
**川村 よし子** 議員  
(日本共産党)

**質問** 65歳以上の高齢障がい者に対し、障害福祉サービスと介護保険制度の関係はどうなっているか。

**町長** 同一の事業所で介護保険と障害福祉サービスを一体的に提供する共生型サービスが創設され、サービス選択の幅が増え改善されたと捉えている。

**質問** 「介護保険料が高くなり生活が大変」「介護が必要になった時どのくらいお金がかかるか心配」等の声があるが、収入の少ない人の保険料・利用料の見直しができるか。

**町長** 介護保険料の第1段階の軽減を継続し、9段階の基準保険料を10段階に改正した。

低所得者に配慮した制度運用としたことから、見直しは考えていない。

**質問** 第7期保険料は、第1期の2倍以上になっているが、支払えない高齢者が多くなっているのではないか。

**町長** 収納率が99・3%であり、支払えない高齢者が増えているとは考えていない。

**質問** 介護労働者の労働条件改善と地元への定着はどうか。  
**町長** 介護福祉士等修学資金貸付事業などの既存支援制度



いちご館で行われている共生型サービス

の活用を図る。  
介護労働者の地元定着を推進するとともに、労働条件改善を国や県に要望していく。

## 国保税の 引き下げを

### 法定外繰り入れは 考えていない

**質問** 4月から国保会計が県主導の広域化となったが、厚生労働省では時限措置として保険税の激変緩和対策をしている。町の状況はどうか。

**町長** 保険税の急激な増額を要する市町村に公費が投入されることとなり、本町は7069万1544円の支援を受けている。

**質問** 一般会計からの法定外繰り入れで、国保税の引き下げをするべきではないか。

**町長** 法定外繰り入れは、町民全体に負担を課すことになり、公平性を欠くことから考えていない。



# 一級河川の災害対策状況は 4河川とも順次改修中



ふじわら  
**藤原** うめあき  
**梅昭** 議員  
(一心会)

**質問** 一級4河川の災害対応状況と、今後の対応計画は。

**町長** 岩崎川は、県道不動盛岡線までは平成31年度の工事完了見込み、さらに上流についても整備を予定している。

太田川と芋沢川は、基幹河川改修事業とし、順次整備を予定している。

大白沢川は、改修中である。

**質問** 煙山ダムの改修計画は。

**町長** 来年度から平成36年度まで、堆積除去、流木止め設備の設置、取水ゲート等関連設備の改修等を行う見込みである。

**質問** 自主防災組織の活動は。

**町長** 全自治会で組織され、

県のモデル事業に取り組んでいる。

**質問** 小中学校の防災教育は。

**教育長** 避難訓練の際に火事、地震、大雨等の避難訓練や集団下校の指導を行っている。復興教育は生きる、関わる、備えるの観点に応じて指導をしている。

## 農林業振興は

### 高収益作物による 所得向上を図る

**質問** 米の戸別所得補償廃止による、影響と将来農業は。

**町長** 制度の廃止による影響は、約1億円である。

需要に応じた主食用米の生産、高収益作物の生産拡大で農業者の所得向上を図る。

**質問** 農業者の減少と高齢化への対応は。

**町長** 生産者への意向調査では、10年以内の経営規模縮小



町内農産物の産直コーナー（ショッピングモール アルコ）

または廃業は、約3割である。課題解決には、安定した収益と魅力ある職業であることが不可欠と考える。

造成し、環境の再生を図る。

**質問** 林業再生への対応は。

**町長** 森林環境譲与税も活用し、町内にシイタケ原木林を

**質問** 新農業委員会制度の中で、農地集積への取り組みは。

**農業委員会会長** 農地等の利用最適化の推進に関する指針を策定し、取り組んでいる。



- 第18回アジア競技大会 (2018.8.18~9.2)  
カヤック4 500m 4位  
カヤック2 500m 5位
- 日本カヌースプリント選手権大会 (2018.9.5~9.10)  
カヤック 500m 優勝  
カヤック 1000m 優勝  
カヤック4 500m 優勝



アジア大会競技中の筆者 (中央艇 前者)



みずもと けいじ  
**水本圭治**さん (太田行政区出身)

## 東京オリンピックをめざして

平成30年8月、インドネシアのジャカルタ・パレンバンで開催された第18回アジア競技大会に出場した。

出場種目は、2020年東京オリンピックの正式種目の一つでもあるK14 (カヤック4人乗り) 500メートルであった。

東京オリンピックの出場権を獲得するためには、アジアで優勝する実力がなければならぬ。そのため、今大会で優勝することが、オリンピック出場に向けたとても重要な課題であった。

我々のライバルはカザフスタンで、この国との勝負になるものと予想していた。カザフスタンのレースプランは、前半は抑え、後半に追い上げるといふもので、これに対し、我々は、持ち前のトップスピードを生かし、前半で差をつけ後半は逃げ切るといふ作戦であった。

カザフスタンとは同タイムであったが、余力がほとんどなく、決勝に向け少し不安を感じていた。

決勝では、レース前半、我々が少し前に出たものの、カザフスタンの追い上げをかわすには十分な距離ではなく、想定外に詰められている焦りから差を広げようとして体力を使ってしまった。そのため、後半は大きく失速することになり、韓国、イランにも追いつかれ、メダルを逃すという、とても悔しい結果になった。

今回の試合では、我々は、勝つぞという強い意思よりも、勝たなくてはという気持ちの方が先に立ち、自分たちが強い漕ぎができなかった。これが最大の敗因であると感じている。

いつも挑戦者であることを忘れず、常に前向きに取り組み、来年のアジア大陸予選に優勝し東京オリンピック出場を果たしたい。

## あ と が き

**表紙のごよせ**

医療型障害児入所施設のみのく療育園で、初めてお祭りが開催されました。タケルンジャーショーやステージ発表にトランポリン、移動動物園など、参加者の笑顔がたくさん見られました。



分かりやすく、興味を持って手に取っていただける議会だよりを目指しています。

6月会議からインターネット中継をしていますので、ぜひご覧ください。

今後も開かれた議会を目指して頑張ります。

編集委員 小川 文子

発行・編集責任者

議長 廣田 光男

編集委員

委員長 昆 秀一

副委員長 齊藤 正範

委員 赤丸 秀雄

委員 水本 淳一

委員 小川 文子



古紙配合の再生紙と植物油インキを使用しています

《ご意見はこちらまで》  
E-mail : gikai@town.yahaba.iwate.jp

いわてやはば議会だより206号  
平成30年10月16日発行